

田毎かゞみ 序

泉鏡花作

全一章

心こころやさしき人ひとありて、こゝにあつめられたる數かずは
あれど、今いまにしてはそれはしか／＼、これはかうと
思おもふまゝに、冷つめたき汗あせの出いづるが多おほし、よし自分じぶんには
なつかしく、いとしく、ゆかしきものありても、い
づれぞと問とはれんが、極きまりの悪わるいもの、何な、戀人こひとの
名なをあけていふのと、ものは、謎なぞかけ、つれ／＼の、
永ながぎ日ひ、永夜ながよの伽ときともなれ。